

ボランティア派遣

プロジェクトの背景

JHP設立以前の1991年に、小山内代表が湾岸戦争後のイランのクルド難民救援に参加。ここで初めて大学生と活動を共にし、その成長する姿を見たことがきっかけとなり、地球的視野を持つ若者を育成する事業を開始。これまで、海外は、カンボジア、旧ユーゴ、アフリカ、インド、ボスニアなど、国内は、阪神淡路大震災、日本海重油災害、中越地震、三宅島帰島、東日本大震災、熊本地震などの救援活動にボランティアを派遣している。



子どもたちと一緒に校舎のペンキ塗り作業

アフリカへ毛布をおくる運動

JHPはアフリカへ毛布をおくる運動推進委員会の構成団体として活動しています。この活動では、約30年以上にわたりアフリカ27カ国以上に409万枚以上の毛布を送っています。

2015年に同委員会に送られた毛布28,764枚、海外輸送協力金29,426,358円は、マラウイやモザンビークでの配布に活用されました。

JHPは、2015年度も毛布の募集活動に協力し、2016年4月24日から5月3日までの毛布配布活動に派遣するボランティアの選考や準備を行いました。

毛布が伝える
心と温もり、
日本からアフリカへ



キャンペーン期間
2016年4月1日(金)～5月31日(火)
www.mofu.org
TEL:0670-054-408



参加者の感想

8月隊の活動でブランコ作りと寄贈式でのソーラン節に合わせた大漁旗振りを楽しみにしているオヤジです。

今回はブランコ作りに加え、校舎外壁のペンキ塗りに参加しました。ブランコ作りは毎回ハプニングが付物で、今回は鎖を吊下げる鉄の棒の径が太かったため加工に手間取りました。また、ペンキ塗りでは子供達も授業終了後作業に参加してくれたおかげで、2棟の校舎を2日で仕上げる事ができました。この校舎で子供たちが楽しく学ぶ姿を想像した時、疲労感が達成感に変わりました。今回も子供たちの笑顔に触れることができ、心がリフレッシュできました。

(社会人ボランティア 和田勝則)

カンボジア8月活動

2015年度は、8月14日～23日まで、老若男女総勢8名を派遣しました。主な活動内容は、過去に寄贈した校舎の外壁ペンキ塗り、ボランティア作業用のブランコ建設の下準備など。8月20日にはプレイベン州内に外務省の助成金で建設されたクランリウ小学校の贈呈式に参加しました。その他、JHPのプロジェクト見学としてCCH訪問し、交流会を行いました。



トイレの外壁を塗装する子どもたち



ブランコ建設の下準備を行うボランティアとJHPスタッフ



CCH交流会のランチは大人気のカレーパーティー